

名古屋市次期文化振興計画 概要（案）

1 策定の趣旨

社会が成熟するに従い価値観やライフスタイルが多様化する中、単身世帯の増加や高齢化の進行など家族や世帯のあり方が変化し、人と人とのつながりの希薄化や地域社会におけるコミュニティ機能の低下が進んでいる。一方、外国人住民が増加するなど多様性（ダイバーシティ）が重視された個々の価値観や生き方を認め合う社会へと本市も変わりつつある。

また、人口の伸びが期待できない中、都市の活力を維持・向上していくためには、都市魅力を向上させ仕事や観光で訪れる旅行者など交流人口を増加させることが不可欠であり、名古屋発の文化芸術の発信とそのすそ野を拡大させることにより、アジアをはじめ世界の人々との交流をより一層拡大するとともに、市民のまちへの愛着や誇りを高める取り組みが不可欠であることから、次期文化振興計画を策定するものである。

2 計画期間

2021（令和3）年度から2025（令和7）年度までの5年間

3 基本理念

文化芸術が活きるまち・芸どころ名古屋～文化の灯を守り、輝くまち～

古代熱田に芽吹き、家康が土壌を育て、宗春の世に花開かせた芸どころの風土を次世代に伝えとともに、市民の活発な文化活動など現代に受け継がれる「芸どころ名古屋」の魅力である蓄積された文化・歴史資源・まちの記憶を新たな価値観やライフスタイルと融合させながら、育て・発信することで、市民生活のなかに文化芸術が根付き、文化芸術の担い手が持続的に発展し、輝くまち・名古屋をめざします。

4 基本方針・施策の展開

文化基盤

確かな文化基盤をつくり、そのすそ野を広げる

まちづくり

文化芸術を活かした個性あるまちづくり

都市魅力

国内外への都市魅力の創造・発信

5 課題と具体的な取り組み

課題 1	次代の社会を担う子どもの創造力やコミュニケーション力に注目が集まるなか、次世代を担う子どもたちへの文化的アプローチはより重要になってきている	課題 2	国内外における熾烈な都市間競争のなか、本市ならではの歴史や文化芸術を活かした魅力発信の取り組みが不可欠となっている	課題 3	世代や地域を超えた市民同士の多様性の享受、他者との相互理解を進めるために、文化芸術を活用した、社会課題の解決への貢献が求められている	課題 4	劇場不足や施設の老朽化等により、多彩な実演芸術を鑑賞する機会や、安心・安全で快適な利用環境を十分に提供できておらず、文化施設本来の機能が発揮できていない
	文化芸術を、日常的に幅広く市民の心の豊かさに繋げるために、誰もが等しく文化芸術の鑑賞等ができる環境整備が求められている		文化芸術活動において世代間・ジャンル間におけるコラボレーションや交流等を通して新たな価値や魅力を創出する取り組みや支援が求められている		市民をはじめとする国内外の人々が文化芸術情報を得られるよう、多様なメディアやイベントを活用した幅広い情報の発信が求められている		各文化施設間の連携が十分にとれていない
	本市の魅力を幅広く体感するために、「芸どころ名古屋」を見聞きし楽しむ機会を提供することが期待されている		創造活動が多様化する中、練習・学習・発表・情報発信などを行いやすい環境づくりがより求められている。		文化芸術によって生み出されるさまざまな価値を活用していくために観光、まちづくり、国際交流、産業等の各関連分野との連携が期待されている		当地域の文化芸術活動が持続的に発展・拡大していくうえで必要な目標設定と、それを実現する体制・能力・環境が求められている

施策 1	親しむ	施策 2	磨く	施策 3	活かす	施策 4	支える
事業内容	市民への機会づくり（鑑賞、体験、アウトリーチ）、子ども・青少年の活動支援	事業内容	アーティスト・愛好家への支援（創作、育成） 文化・歴史資源の活用	事業内容	他分野への活用、情報発信、交流	事業内容	インフラ、体制
文化芸術を享受する機会の拡大		創造活動の支援		社会的課題の解決への活用（社会包摂）		文化施設の整備、管理運営	
文化施設での公演・展示を行う機会づくり		新進芸術家などの支援		文化芸術を活かしたまちづくりに取り組む人材や中間支援組織の支援		文化施設の適切な管理と改修・整備	
アウトリーチ活動、まちかど展開など身近な場での体験の機会づくり		コンペティションなどの開催 文化芸術活動への表彰・顕彰		文化芸術による地域の活性化		劇場法などを踏まえた文化施設の管理・運営	
地域の歴史文化や生活文化を新たに発見・開発する取り組みの推進		芸術創造センター、青少年文化センターの創造機能の強化		文化小劇場を拠点としたまちづくり活動の促進・交流の支援		文化施設の運営方針の明確化	
文化活動につながるアウトリーチプログラムの研究		国内外から注目される文化芸術活動の創造		コーディネート人材の育成		舞台技術者の育成	
				ユネスコ創造都市ネットワークの活用		文化施設における指定管理者制度の適切な運用・評価	
子ども・青少年の創造性の育成		市民文化活動の支援		観光・産業への還元		多様な連携、体制の充実	
子どもが文化芸術に触れる機会の創出		技量の向上・情報発信・各種相談など文化活動への支援		観光客や訪日外国人を視野に入れた文化芸術イベントの開催支援や作品の制作		庁内連携組織の設置	
子ども・青少年の活動・発表・交流の場の提供・支援		市民文化活動への助成・助言 まちなかの空間や遊休施設の活用 地域の文化活動の発表・交流機会の充実 文化施設の適切な管理と改修・整備		文化・歴史資源を活かした観光振興 クリエイティブ産業や文化芸術活動を支える産業の振興 メディア芸術（映画、マンガ、アニメーションなど）の活用		名古屋市文化振興事業団、名古屋フィルハーモニー交響楽団との連携強化	
		地域における文化活動の発表・活動・交流機会の充実		金山南ビル低層棟（美術館棟）の活用		多様な連携を図る意見交換の実施場の設置	
						文化庁・芸術文化振興基金、助成財団などの助成制度の活用	
						ネーミングライツ、助成財団など民間活力の活用事業	
						文化振興事業積立基金制度の活用	
						新たな市民会館と他の文化施設との連携	
		文化・歴史資源を活用した魅力づくり		文化芸術を活かしたまちづくり		名古屋版アーツカウンシルの実施	
		都市の文化・歴史資源を活用した事業やイベントなどの実施		まちなかでの文化芸術活動の推進		新たな文化芸術推進体制の構築	
		歴史的建造物や文化資産を活用した、名古屋独自の歴史や文化に根ざしたやっとかめ文化祭等の実施		歴史まちづくりの推進		コーディネート人材の育成	
		芸術家などが集まる創造界隈の形成・連携		良好な都市景観の維持・形成			
		歴史的建造物や歴史的町並みの保存・活用		名古屋駅、栄、金山駅地区などのまちづくりにおける広場や公共的な空間の創出・活用			
		重要伝統的建造物群保存地区の魅力向上・発信					
		名古屋城を核とした魅力づくり					
		文化面での広域連携					
				国内外に対する情報発信力の強化			
				文化情報の一元的集約及び編集			
				文化情報の国内外への発信			
				市民が情報を共有できるネットワークづくりの支援 文化情報のアーカイブ化			
名古屋版アーツカウンシル（文化芸術への支援策をより有効に機能させるため、専門性を有した人材による支援・調査・企画を循環的に作用させるとともに、様々な主体との連携・協働を推進する）							
ユネスコ創造都市ネットワーク（国内外の都市が連携を結び、その国際的なネットワークを通じて、相互に経験・知識の共有を図り、創造人材の育成と新たな創造産業の創出、都市の活性化及び都市の魅力の発信を担う）							
市民会館をはじめとした文化施設（鑑賞・創作・発表・交流など市民が文化活動をしやすい環境を作り、名古屋の文化芸術を支える基盤を形成する）							